

社会新報

八王子市議会議員

2007年4月4日 発行

発行所

社会民主党全国連合機関紙宣伝局
週刊(水曜日発行)

号外

〒192-0904 八王子市子安町4-28-11-201
TEL&FAX 042-626-6435 e-mail: info@inouemutsuko.net

井上むつ子 活動報告

<http://www.inouemutsuko.net>

〒192-0904 八王子市子安町4-28-11-201 TEL&FAX 042-626-6435 e-mail: info@inouemutsuko.net

格差社会にストップを!



春、4月。

希望にあふれる新しいスタートの月です。

2007年度予算の審議をする任期最後の第1回定例議会は3月29日終了しました。

自公政権がすすめてきた働き方や公共交通の規制緩和、構造改革による福祉や教育への民間の参入は、利益を優先した競争社会に一層拍車をかけました。その結果、格差が拡がり様々な矛盾と問題がでています。若い人たちには正規の仕事がなく、生活保護世帯は増加をしつづけ、介護保険料や医療費の負担は、高齢者世帯に重くのしかかっています。

この2年間、少子・高齢化対策委員長として都立小児病院の移転問題、子ども育成計画と介護保険についても調査しとり組んできました。保育園や学童保育の待機児解消、医療や介護の充実はまったなしの緊急課題です。

こうした市民生活の困難さを解決し、格差社会から、だれもが安心して暮らせる八王子のまちづくりのために、これからも全力を尽くします。

井上むつ子

予算審議から

2007年度の八王子市予算は、総額3345億7千万円です。市長は「次世代創造型予算」と名づけましたが、格差を是正し厳しい市民生活を応援する予算とするために、代表質疑などで福祉や医療、教育に重点的な予算配分を求めました。

定率減税の廃止 弱いものに負担を強いる増税策

景気回復を理由に「恒久的減税」といわれた定率減税の廃止によって、2007年度は、30億4千万円の増収となりますが、市民にとっては同額の増税となります。90年代以降の税制改革は、金融所得課税や法人所得課税を減税する一方、給与所得課税や消費税の増税を志向してきました。

国の90年度決算では法人税の額が18兆4千億円であったものが、2004年には9兆4千億円に半減し、消費税は4兆6千億円から9兆6千億円へと倍増しています。法人税は85年の43.3%をピークに現在は30%まで引き下げられています。所得税も最高税率が75%から37%にまで引き下げられ、企業や富裕層に手厚く、そうでないものは置き去りにされ、負担だけが増える税制改悪が行われてきました。

その結果、所得の再分配機能が衰え、税制度が格差拡大の一つの大きな原因となっています。この逆立ちした税制を変えなければなりません。

子育て支援は前進 保育園の待機児解消は課題

乳幼児医療費助成は所得制限が撤廃され、小・中学生の医療費の3分の1助成制度(制限あり)ができました。10月から実施されます。子育て支援は、所得によって差があってはなりません。乳幼児医療費の所得制限の撤廃は前進です。

保育園は、1園(民間・120名の定員)ふえますが、保育園の待機児解消は、尚、大きな課題です。

認定子ども園が3園(10月開所)で始まります。利用料や障がいを持つ子どもの受け入れ、公正な選考がされるよう市が指導していくことを求めました。



都立小児病院の存続と中核病院の スタッフの充実を

2月、東海大学病院が医師不足のため、分娩の受け入れを中止するという情報が、市民の不安を煽りました。市長からの強い要請で、6人の産科医を4月から確保し、産科は継続されることになりました。市は東海大学病院に補助金を出していますが、協定書で約束した500床のうち、スタッフ不足で400床しか稼働していません。

市は、都立小児病院の移転問題について反対の方針を変えてはいませんが、小児病院の機能を中核病院(東海大病院、医療センター)がどのような条件であれば担えるかとの協議をしています。中核病院の医師・看護師不足が深刻な状況では、小児病院の機能を担うことが難しいのは明らかです。子どもたちの命と健康を守るために、都立小児病院の存続を改めて強く主張しました。

介護保険は高齢者の尊厳を守る運用を

市は「同居家族がいる場合ホームヘルプサービスを出してはいけない」と、事業者に対して一斉に指導をしました。日中独居の高齢者からは、突然ヘルパーの派遣を打ち切られ、「生きていてはいけないのか!」という悲鳴があがり、現場は大混乱しました。こうした一律の指導は「家族介護から介護の社会化へ」「サービスは利用者の選択と決定」という介護保険の理念を否定することだと強く指摘をしました。担当部長は、「誤ったシグナルを出してしまった」と反省し、高齢者の個々の状況に応じてプランを作成することを認めました。2月以降、サービスが打ち切られ、納得できず困っている方は、介護サービス課に相談してください。

認定子ども園とは、都道府県が認定した幼稚園と保育園を一緒にした施設。園との直接契約が基本です。

大型開発は財政と環境を破壊する

川口地区トラックターミナル構想について、調査委託料と研究会への負担金が計上されました。トラックターミナル(物流)構想は、緑地や大気汚染などの自然環境と生活環境に与える影響が大きく、資金調達も不明で、インフラ整備などは市財政の重い負担

となります。また、北西部幹線の整備や土地を所有する市住宅都市整備公社の今後の方向性が不安定など、多くの問題がある計画です。

リサーチパーク計画を中止しせつかく残した緑地は、このまま保全すべきです。

心から信頼する井上むつ子さん

期待します

「憲法」を愛する女性ネット代表
元経済企画庁長官 久保田 眞苗

私が胸を張って、心の底から推薦したい市議会議員は井上むつ子さんです。

のびていく八王子にぜひとも必要なもの それは、しっかりと仕事のできる街、のびのび子育てのできる街、安心して老後を楽しめる街、だれでも、いつでも頼れる医療、新鮮な空気と水、そしてもちろん平和です!

平和憲法、人権憲法を、わが街に共に生かしていくことではないでしょうか。

そのためにがんばっている井上むつ子さん! すばらしい能力、すごい働き手、やさしく気さくな人柄、これ以上の議員は考えられない私です。

元八王子町 荒川 亘

「政治とカネ」の問題が、各級・各地の議会の「政務調査費」の公開に絡んで、新聞・テレビで取上げられている。その中に、わが八王子の名前がでてこないのにはわけがある。

八王子市民オンブズマン(故瀬川信彦氏が会長の当時)がいち早く、市議会各会派に「領収書公開」を申し入れていたからである。それに応えて、幾人かの議員がこれに賛成してくれたが、その中で真っ先に、そして一番熱心に賛成してくれたのが、井上むつ子議員であった。このような、市民の生活感覚を土台にした『政治的判断』において、また、国際的な友好、交流の運動にたえずかわり、実務もこなす視野の広さも持った、という点において、井上むつ子議員は、どうしても八王子市議会を舞台に、続投してもらわなければならない。

松が谷 木村 順子

2006年4月、介護保険制度が変わりました。自立支援の観点からは、介護予防サービスは歓迎すべきものです。しかし、八王子市として、介護予防サービスの組み立てプランは無いに等しく、包括支援センターにお任せの状態のようです。また、家事援助は1時間半以内と決められ、商店があまりないところでは買い物だけで30分以上取られてしまうケースもしばしば。ヘルパーが時間内にサービスを終わらせるのがやっとで、話をするのもままならない。さらに、同居の家族がいる場合、家事いわゆる掃除や食事の準備はできない、という指導が徹底されています。同居の息子

が朝早く出て夜遅く帰ってくるようなケースでは、食事の準備は誰がするのでしょうか?

個々の事情により、中立な立場で良心的に介護プランを作成するケアマネージャーの質の確保、介護サービスの質の確保は、保険者である八王子市の役割です。厚労省の一律の線引きではなく、八王子市の特性を考慮したきめ細かいサービスの提供が必要です。井上むつ子さんは「介護の社会化をすすめる一万人市民委員会 in八王子」の調査活動でも、議員として市民活動を支える立場を貫きながら、一市民としても調査活動に参加し、市政に反映してくださいました。これからの介護保険制度充実のための働きかけと、井上さんの更なる活躍を期待します。

この4年間、会派代表者懇談会で「議会のあり方」について検討してきました。

評価できるものとして、傍聴者への資料閲覧や、試行段階ですが委員会での請願者の説明(委員会の了承が必要)ができるようになったことです。政務調査費の領収書添付は、条例を改正して、2006年度分から公開されています。

議会だよりは、委員会審議などを載せるようになりましたが、一般質問はテーマと質問者名は一括掲載となったため、だれが何を質問したかわからないという指摘を受けています。また、予算や決算の分科会は非公開で議事録も作成されておらず、開かれた議会への課題は多くあります。



夕張市の財政破綻や各地での官製談合事件は、議会のチェック機能を問われた問題でもありました。

議会は執行機関を厳しくチェックし、多様な市民の意見が反映されなければなりません。

議会を「民主主義の広場」とし、自治体議会改革キャンペーンが始まり、私も賛同しています。まず第1ステップとして、議員同士が責任を持って自由に討議する議会 市民も参加できる開かれた議会 積極的に情報を公開し透明性のある議会 をめざします。

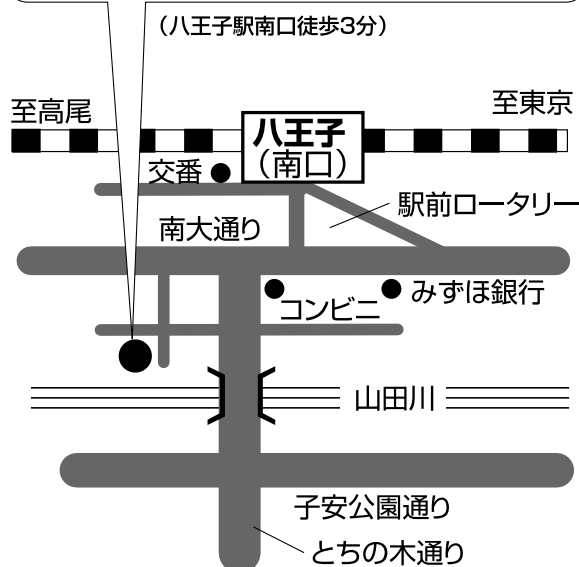
市民にわかりやすい議会、行政となれ合わない議会、市民と政策をつくる議会へと、議会改革をすすめます。

井上むつ子 事務所開きのご案内

とき 4月15日(日) 午後1時30分～

ところ 八王子市子安町4-22-10
メゾンドポヌール102

☎・FAX 042-626-8340



生かそう憲法 守ろう9条

5.3 憲法集会 & パレード

5月3日(木) 12時開場 13時開会
日比谷公会堂

ピースウォークのお知らせ

4月14日(土) 毎月第2土曜日
午後4時から
5月12日(土) 集合: 船森公園
6月9日(土) (京王八王子駅 3分)

市政相談 連絡先 Tel. Fax. 042-626-6435 (自宅)
Tel. Fax. 042-626-7545 (事務所)

井上むつ子後援会へのご支援とカンパのご協力をお願いします。

郵便振替口座 00140-7-98039
口座名 井上むつ子後援会